

入院患者を対象とした口腔ケア実施件数



■ 歯科医師、歯科衛生士の介入による口腔ケアへ取り組む

当院では2015年度より誤嚥性肺炎等の合併症予防や気管挿管時の歯牙損傷予防を目的とした、地域歯科と荻窪病院の連携による周術期口腔機能管理を開始しました。

患者さんへの口腔ケアは主に看護師が担当していますが、包括的ケアの一環として杉並区歯科医師会と提携し、当院歯科衛生士と共に病棟ラウンドおよび応急的な訪問歯科治療を行っています。

看護師の口腔ケアへの関心度が高まり歯科衛生士への相談件数も増加しております。

2016年度口腔ケアの実施件数は631件で前年度より33件増加致しました。



歯科健康講座での発表の様子
(発表者 病院長 村井 信二)

2016年度中に当院では第2回杉並区歯科医師会・荻窪病院連携の会を開催しました。また、杉並区主催の歯科健康講座に発表者として参加し、当院が行っている周術期の口腔管理機能の重要性と地域歯科との連携について市民の方を対象に講演致しました。